

## 輸入材製品の供給ひっ迫に伴う住宅関連資材の不足への対応について (緊急宣言)

今般、北米等における住宅需要の高まりによる木材需要の増大や産地価格の上昇、世界的な海上コンテナの不足や海上運賃の上昇などにより、住宅建築に必要な外国産木材製品等の輸入量減少と価格の上昇が生じており、その代替として国産材製品への引き合いも強くなる中、一部業者からは、木材製品が入手しづらい状況にあるとの声も聞こえてきている状況で、国内の住宅等建築に深刻な影響を与えることが懸念されています。

このような状況に対し、4月14日には、林野庁において、林業・木材関連団体が参加し、「中央需給情報連絡協議会臨時情報交換会」が開催され、「今般の輸入製材品の価格急騰と供給不足に伴う国産材製品の代替需要の高まりについて、現状と見通しに関する情報が共有され、川上から川下までの関係者が現状把握と情報共有を行うと共に、中長期的な視点から業界一体となった対応が必要との意見が出されたところでした。

更に、4月30日には、林野庁木材産業課長名で、「実需に基づく適切な発注、過剰な在庫の保有の抑制」並びに「木材流通に係わる情報提供」等の要請が発出されたところでした。

このような状況を踏まえ、木材流通を担う全市連として、住宅等建築に必要な木材の安定供給に大きな使命を担っているとの認識に立って、住宅等関連資材の安定供給に適切に対応することとし、下記の通り宣言いたします。

### 記

1. (一社)全日本木材市場連盟の会員は、住宅等建築用木材製品の適切な供給確保、全国的な木材需給の安定に向けて、積極的に協力すると共に、適切に対応して参ります。
2. 木材製品の安定供給のため、実需に基づく適切な発注、過剰在庫の保有の抑制など、川上から川下まで木材製品を取り扱う関係各社に対し、積極的に協力を要請して参ります。
3. 木材供給の安定化に向けて、情報交換等を密にして誠心誠意取り組んで参ります。